

平成22年度 村政懇談会 皆さんの声を 村政に！



住民主体の村政を目指し、6月17日(木)から28日(月)まで、各コミュニティセンターで村政懇談会が行われました。今回はこの懇談会の主な内容についてお知らせします。

■問い合わせ

総務部自治推進課自治推進担当
(☎282局1711 内線1341)

村長のあいさつ

はじめに、村政運営の視点と予算の重点施策について、村長から報告がありました。

■今年度の村政運営の視点

①人と環境優先(生活者の視点に立った村政)②永續する価値の重視(自然や歴史、文化等)③地域主権(住民が主体の自治のまちづくり)——を基本理念とし、経済発展至上主義から脱却し、10年後の東海村に目を向けた永續する社会の構築を目指す村政を運営していきます。

■予算の重点施策

村立東海病院に外科医・内科医を増やし、婦人科を開設することで医療体制の充実を図るほか▼後期高齢者医療保険料の負担補助▼保育料の10%引き下げ▼少人数学級の導入▼村立図書館の増改築▼「緑の基本計画」に基づく緑化の推進——などを重点的な施策とします。また、第5次総合計画の策定や現在協議中のごみ処理業務・消防業務の広域化、世界的な原子力の拠点を目指すための「東海村を原子力センターにする懇談会」の設置等が課題です。※詳細は「広報とうかい」4月10日号を参照ください。



自治基本条例の進捗状況

続いて、自治基本条例の進捗状況について、村執行部より説明を行いました。

■これまでの主な流れ

▼自治基本条例策定委員会(住民)

平成19年7月から各小学校区の地区委員長・有識者公募等、計19人の委員で協議を開始しました。地域代表者会、村政懇談会、住民説明会等で計28回の意見交換会を実施したほか、パブリックコメント(意見公募)の意見等について協議・検討を行い、平成21年1月13日に自治基本条例策定委員会の素案が村長に提出されました。

▼自治基本条例調査特別委員会(議会)

平成20年3月に委員会を設置し、自治基本条例策定委員会の進捗状況を受けながら、先ず地視察や各会派の意見集約等を行いました。計30回の協議・検討を重ね、平成22年3月25日に自治基本条例調査特別委員会による案が村執行部に提出されました。

■現在の状況

自治基本条例調査特別委員会の案を受け、副村長を委員長とする庁内検討委員会で協議を進めています。

■今後の取り組み

それぞれから提出された案や庁内各部からの意見等を基に庁内検討委員会の案を作成し、再度、自治基本条例策定委員会や自治基本条例調査特別委員会等と調整を図り、最終案をまとめていきます。

各地区の懇談会

懇談では、住民の皆さんから、村政に対するさまざまな意見や要望等が出されました。

舟石川・船場地区

船場区
舟石川1区
舟石川2区

期 日 6月17日(木)
時 間 午後7時～9時
会 場 舟石川コミュニティセンター
司 会 萩谷信輝さん
(船場区自治会長)
参加住民 66人

●事前質問／全村的な村道の整備計画について
生活に密着する村道でも、いまだに整備が行われず、使用しにくい道があります。村道の整備は、地区自治会単位で住民の意見を取り入れ、全村共通の基準で検討していただきたいと思っています。
建設水道部長▼村道の整備はこれまで年次計画に基づいて実施していましたが、基本方針が不透明であったり、全体像が見えにくいといった面がありましたので、今年度は「生活道路に関する整備方針」(みちづくり基本計画)の策定に取り組みます。計画の策定には、地区の方にも委員として加わっていただき、計画を基に村道の整備を実施してまいりたいと思います。
●舟石川1区住民／ごみの収集について
ごみは清掃センターに直接持つていくという方もいらつしやいますが、清掃センターがひたちなかに市に移転したら、これまで通りにはいかなくなると思います。地域で対応を考えていく必要があると思います。

すし、行政からもご指導いただきたいと思っています。
経済環境部長▼高齢者への対応も課題ですし、自治会加入等の問題も関わってくるかと思いますが、ごみ集積所は常会(班)に加入すれば使えるとか、10世帯以上集まれば新設できるとか、さまざまな方法がありますので、状況に応じて対応していく必要があるかと思っています。その方法等は相談に乗りますので、一緒に考えていきましょう。
●舟石川1区住民／希少植物の保護について
現在、自然生育している「サワギキョウ」は絶滅の危機に瀕しています。村では、緑地の保全や自然環境の維持についてどのように考えていますか。
建設水道部長▼村では「緑の基本計画」に基づき緑地の保全を図っています。ご指摘の地域は保全配慮地区の候補地となっています。保全配慮地区に選定されると、行政としては、用地の取得や条例による村民の森指定、活動団体への支援等を行います。重要なのは選定後も継続して保全活動をしていくことです。そのためには、地域の方々の力をお借りする必要があります。豊富な知識や経験をお持ちの方を中心に、今後も保全活動を続けていただきたいと思っています。
●舟石川1区住民／ふれあい型食事会について
地区社会福祉協議会で実施しているふれあい型食事会は参加者が減少しています。その原因は、会場までの足がない、子どもと同居していると参加できないなどの理由にあるようです。制限を緩めるなどの見直しを、ぜひ検討してください。
福祉部長▼多くの方が参加でき、皆で楽しめるように担当課とともに検討していきます。

中丸地区

中丸区
須和間区
舟石川区
原区
力機長堀1区
原区
力機長堀2区
緑ヶ丘区
南台区
フローレス須和間区

期 日 6月18日(金)
時 間 午後7時～9時
会 場 中丸コミュニティセンター
司 会 中山喜実男さん
(フローレス須和間区自治会長)
参加住民 71人

●事前質問／デマンドタクシー「あいのりくん」について
デマンドタクシーは、希望時間に予約が取れない、午後4時以降の運行がないなど不便に感じることがあります。有料でよいので福祉バスを運行するなどしていただきたいのですが。
理事(兼)企画政策部長▼できるだけ希望の時間に乗車できるよう今年6月には車両を1台増車する対策をとりましたが、運行時間については、現在試行運転を継続している午後4時30分以降は、タクシー事業者との競合を避けなくてはならないことから難しい状況です。しかし、地域公共交通の役割はますます重要になると感じています。今後の改善・充実の検討を進めてまいります。
また、新たな地域公共交通の導入については、需要予測・調査や公的・利用者負担のあり方等に加え、かつての福祉巡回バス廃止の経緯を踏まえ、多方面から検討していく必要があると考えています。
●緑ヶ丘区住民／住宅用太陽光発電システム設置補助について
補助を受けて設置した家庭には、電気量を報告してもらい、この補助で削減できた二酸化炭素量を計算するべきではないで

でしょうか。税金での補助なので、報告を義務化してもよいと思います。また、公共施設でも太陽光発電を活用していくべきだと思います。

村長▼そのとおりですね。国から補助金を受けた場合も報告義務があります。村でも効果を確認する必要があります。また、公共施設での活用については、現在、浄水場の沈殿槽に太陽光発電のふたを取り付ける検討をしているところです。

●**長堀2区住民/AED(自動体外式除細動器)の設置場所について** AEDが設置されている場所の一覧や地図はあるのですか。また公共施設に多いようですが、閉館した夜間の使用についてはどのように考えているのですか。

消防長▼AEDはすべての公共施設にあり、消防本部で地図も作成していますので、必要があれば配布いたします。また、閉館後の使用については特に考えておりません。心肺停止状態の場合は、速やかに119番をしてください。

村長▼AEDは原則としてその施設で何かあった場合に備えて設置してあります。離れた場所から取りに行つて使用することは前提にいたしません。心肺停止状態の場合は、一刻を争いますので救急車を呼んでください。



石神地区

外宿1区・外宿2区
内宿1区・内宿2区
竹瓦区

期 日 6月23日(水)
時 間 午後7時~9時
会 場 石神コミュニティセンター
司 会 廣原通治さん
(外宿2区自治会長)
参加住民 57人

●**事前質問/側溝の悪臭について** 畑より低い道路は、畑の土が側溝に流れて詰まり、水が常時滞留した状態になり、悪臭を放つているところもあります。村道を整備する際に、土留め対策をしていただけないでしょうか。

建設水道部長▼村道は、宅地や畑に雨水が入らないように道路を低くして両側に側溝を設置するのが通常です。場所によっては排水こう配があまりなく、土が少し入っただけでも水が滞留してしまふところがあります。村でも安全上問題が生じる箇所については対応していますが、全村的には対応しきれません。また、新たな土留め対策は難しい状況です。耕起した土が道路にこぼれた場合はその都度清掃してくださいようお願いします。また、民家周辺の側溝清掃も行っていますが、予算の都合上毎年清掃することは難しい状況です。役場には側溝のふたを上げる道具もありますので、役場に声を掛けていただき、地域の皆さんと協働で清掃ができればと考えております。

●**竹瓦区住民/久慈川の洪水対策について** 久慈川の洪水を心配しています。地域で避難訓練を実施しましたが、道路の冠水等を想定してシミュレーションする必要があると思います。また、災

害等の情報は国や県になるかと思いますが、村でも情報のつなぎをしていただきたいと思っています。

村長▼おっしゃる通りです。昔から地域に住んでいる方や具体的な地理を知っている方から話を伺いながら、現場に即した避難経路等を検討しましょう。また、村でもできるだけ早く情報をキャッチし、状況判断をしていくことが重要だと思っています。

●**竹瓦区住民/見守り隊について** 子どもたちの安全のために、登下校時に、地域の方々が道路の角や危険箇所立っています。高齢者も多い中、雨の日も寒い冬も欠かさずです。これが当たり前と思ってしまうのは報われれないと思います。保護者が脇を素知らぬ顔で通るのを見掛けたこともあります。保護者と子ども、見守り隊がコミュニケーションをとれるようなそんな社会になつてほしいと思いました。

教育長▼ご意見ありがとうございます。多くの方々が子どもたちの安全を日々、見守つてくださっていること、大変感謝しています。子どもたちにはあいさつの指導をしています。子どもたちにもPTAの研修等で話をしたいと思っています。また、今は地域の方と接する機会が減つてしまいました。子どもたちにとつて、先生は学校の先生だけではなく、地域の中にもいるという意識を持つてもらいたいと思つていますので、遠慮なく声を掛けてください。



白方地区

白方区・豊岡区・岡区
百塚区・亀下区
豊白区・村松北区
原子力機構百塚区

■期 日 6月24日(木)
■時 間 午後7時～9時
■会 場 白方コミュニティセンター
■司 会 宮本甚吉さん
(亀下区自治会長)
■参加住民 68人

●白方区住民／駅東の駐輪場について 最近、

自転車の利用者が大変多くなっています。特に駅東は自転車が置けないほどいっぱいになっていますので、積極的な整備をお願いします。

■経済環境部長▼駅東の日立側の自転車が增えている状況かと思えます。駅東側という限られた場所での増床ですので、頭を悩ませているところですので。現在検討中ですので、もう少し時間をいただきたいと思えます。

●村松北区住民／旧白方小学校の解体について①

卒業生は解体されることを知りませんでした。解体される前に、学校内を見学したり、卒業記念作品を見たりしたいのですが、それは可能ですか。教育次長▼自分の過ごした学校には、皆さんそれぞれ思い入れがあるかと思えます。現在は防犯上、中に入れません、具体的な内容や日程



等を教育委員会にご相談いただければ、こちらでもお手伝いできるかと思えます。

■村長▼卒業生に知らせて、見学会を企画したら良いのではないか。解体前にそういう日を設けましょう。※8月14日(土)に実施します。

●白方区住民／旧白方小学校の解体について②

旧白方小学校は、耐震を理由に解体とありますが、他の地域では、使われなくなった校舎を積極的に活用している例もあります。そのような手法はとれないのですか。

■村長▼自分たちの育ってきた建物は、どんなに古くても自分たちの歴史があり、懐かしい気持ちになるものです。できることなら、少しでも残したい思いですが、専門家による耐震診断の結果、補強しても安全が保てないということですので、やむを得ず、全面的に解体することになりました。

■建設水道部長▼他の地域で活用している校舎は木造校舎ですよ。木造は材料が腐らなければ長持ちしますので、木造であれば活用も考えられたかと思えます。

●白方区住民／歩車分離式交差点について

合 同庁舎前やジャスコ前は、歩車分離式交差点になったので、スクランブル交差点にしてほしいのですが。

■村長▼警察側で許可がもらえない状況です。このような意見が出たということ、再度、警察に相談してみます。



真崎地区

真崎区
舟石川3区
原子力機構荒谷台区

■期 日 6月25日(金)
■時 間 午後7時～9時
■会 場 真崎コミュニティセンター
■司 会 亀尾裕さん(原子力機構荒谷台区副自治会長)
■参加住民 60人

●事前質問／阿漕ヶ浦公園周辺の整備について 今

後の進め方はどのようになっているのですか。■建設水道部長▼阿漕ヶ浦公園の周辺はほとんどが宅地や畑等の民地です。今年5月に、周辺の現地調査を行い、真崎地区自治会に報告し、地区で考えている整備案の検討をお願いしているところですので。今後は、村と地域の方々と整備手法等を検討していきたいと考えております。

●舟石川3区住民／個人情報保護法について

民 生委員をしております。災害発生時の緊急連絡や給食の配布、一人暮らしの老人への声掛けなどの活動をしますが、個人情報保護法に基づき、その都度同意書をもらわないといけません。目的は弱者への支援です。社会福祉協議会とも連絡しあつて、統一することはできないのでしょうか。

■村長▼大変申し訳ないことです。個人情報保護法ができてからは、個人の情報にとかく敏感になってしまっています。責任を問われることにもなりかねないということで、われわれとしても、いちいち承諾をもらわないと支援できないということではなくしたいのですが。

■福祉部長▼個人情報情報は難しい問題です。それによって、民生委員の方々には大変ご迷惑をお掛

けしています。福祉部内でも何か良い策はないか検討してみたいと思います。

●舟石川3区住民／新村松踏切について 新村松踏切（JR東海駅の日立側にある踏切）は、近隣住民へのアンケート結果と村の意向について文書でいただき、四輪車は終日通行禁止、歩行者と二輪車のみ通行になるということで、これはやむを得ないと考えておりますが、進捗状況はどのようになっているのでしょうか。

建設水道部長▼交通量調査を踏まえ、地域の方の安全を第一に考えるということで、村長自ら、警察やJRに直談判し、協議を進めており、JRでも、村と一緒に警察へ要望書を出していただけたらという事で、話が進んでいます。今年度末には、規制する方向で考えておりますので、皆様のご理解をよろしく願います。



村松地区

宿区・照沼区
川根区
原子力機構箕輪区

期 日 6月28日(月)
時 間 午後7時～9時
会 場 村松コミュニティセンター
司 会 箭内千里さん(原子力機構箕輪区自治会長)
参加住民 93人

●照沼区住民／選挙の投票時間について 現在、投票時間は午後8時までですが、午後6時でも良いのではないのでしょうか。午後6時以降しか行けない方は期日前投票が充実していますので、そちらで投票すれば良いと思います。

総務部長▼午後8時までとしているのは住民アンケートで決まったものです。また、村単独の選挙であれば、午後6時にすることである程度予算を削減できると思いますが、国政選挙等の場合は、午後6時で終わっても開票は午後8時からしか開始できません。投票時間を変更するとなると、調整が必要になるかと思えます。

●照沼区住民／茨城港(常陸那珂港区)の後背地の利用計画について 常陸那珂港区の後背地の利用計画はどのように検討されているのですか。また、常陸那珂港区から国道245号線までの道路工事が進んでいます。その先の延伸部分はどうなる状況になっているのでしょうか。

理事(兼)企画政策部長▼後背地の利用計画は進んでいない状況です。今回に限らず、各村政懇談会で、土地利用等のご意見があり、個別の対応も必要ですが、総合的にも考える時期にあるのではないかと考えています。第5次総合計画

でも、土地環境利用の総合的な検討について考えなければならぬだろうという話も出ています。今後検討していかなくてはいけないと思います。

建設水道部長▼ご指摘の道路は、県の事業として、今年秋の供用開始に向けて順調に工事が進んでいます。その先については、村でも要望を出していますが、財政が厳しく、現段階での着工は難しいという回答を得ています。

●原子力機構箕輪区住民／防犯灯やカーブミラーの設置について 交通安全対策費として防犯灯やカーブミラーの設置費が予算化されていますが、設置基準や優先順位はあるのですか。

経済環境部長▼地域の危険な箇所や設置要望のある箇所について、地権者から了解を得た上で、自治会長さんから申請をいただいております。それらについては優先的に設置しております。設置場所が民地や畑地になると、その影響を受ける方から了解をいただければ設置が可能です。

●照沼区住民／自主防災組織について 原子力防災訓練で、自家用車での避難を行いました。若手がいない昼間に災害が発生したら、高齢者は避難が難しいと思います。災害時は、自分の命、家族の命、自分の財産を守り、そのあと隣近所で助け合う。それには、各個人がばらばらでやるのではなく、組織として行う必要性があると感じます。それについて考えはあるのでしょうか。消防長▼自主防災組織は村内に6団体あります。現在、各单位自治会や各地区の安心・安全部会に自主防災組織の設置をお願いしている状況です。